

家庭科学習指導案

庄原市立永末小学校

指導者 高下 一志

- 1 日時 平成24年10月26日(金) 9:15~10:00 家庭科室
- 2 学年 第5学年 9名
- 3 題材名 「食べることの大切さを考えよう」
- 4 題材について

本題材と関わる内容については、小学校学習指導要領 家庭 内容「B 日常の食事と調理の基礎」の指導項目(1) 食事の役割,(2) 栄養を考えた食事,(3) 調理の基礎に示されている。

食べることは、健康を保ち、体の成長や活動のもとになったりすることや、一緒に食事をするこ
とで、人と楽しくかかわったり、和やかな気持ちになったりすることなど大きな役割を担っている。
また、楽しく食事をするためには、食事のマナーはもちろん、食べ方や会話、相手を思いやる気持
ち、心の触れ合い、食事に対する感謝の気持ちを表すことなどが大切である。さらに、栄養素とそ
の働き、食品の栄養的特徴を知り、1食分の献立を考え、工夫することを通して、栄養を考えた食
事に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常生活で活用できるようになることも大
切なことである。

5年生では、まず米飯とみそ汁を中心とした1食分の調理実習を行う。その際、みそやみそ汁の
実を工夫し、調和のよい食事になるようにする。調和のよい食事とは、「主にエネルギーのもとに
なる」、「主に体をつくるもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」の3つのグループの食
品を組み合わせた、栄養のバランスがよい食事のことである。さらに、その発展的な学習として、
栄養のバランスを考えて“ふれあい弁当”を作る活動を行う。この弁当づくりは、家族のために弁
当を作ることで家族との心のつながりを深め、自分たちの食生活をさらに楽しく豊かなものにして
いこうというねらいで設定した。

5年生児童は、9名(男子5名、女子4名)である。児童はこれまで、包丁やまな板などの取扱
いや、ゆで野菜やゆで卵などのゆでる料理について学習してきた。また、献立を立てて調理実習を
することは、自然体験キャンプや全校クッキングなどで経験してきている。しかし、家庭科の授業
や調理実習の様子から、調理経験には個人差がみられ、調理器具や道具が思うように使いこなせ
ない児童がいる。また、これまで食育で、食事の大切さやバランスのとれた食事についての学習をし
てきているが、給食時間の食べる様子から、好き嫌いが多く残菜も多いのが現状である。

調理についてのアンケートの結果は次のようであった。

今までに食事を1回でも作ったことはありますか。	ある 9人	ない 0人
今までに食事を作ったのは何回くらいありますか。	4回~30回(平均17回)	
今までにお弁当を1回でも作ったことはありますか。	ある 5人	ない 4人
今までにお弁当を作ったのは何回くらいありますか。	1回~20回(平均4回)	
あなたは料理することが楽しいと思えますか。	楽しい 9人	そうでもない 0人
家ではだれがよく料理をしていますか。	お母さん8人、おばあちゃん6人、お父さん3人	

5年生の児童のほとんどが、調理実習やお弁当づくりを楽しみにしている。しかし、調理の技
能や経験には個人差が見られる。そこで、少しずつできることを増やし、自信につなげていき
たい。そして、楽しみにしている気持ちを大切にしながら、さらに家庭生活でも実践できるよう
していきたい。指導に当たって、まずは基礎的な技能を習得させること。次に体に必要な栄養素

を食事によってとっていることに気付き、栄養を考えて食事をとることの大切さが分かるように配慮していきたい。その際、次の3点について工夫する。

言語活動の充実...食品に含まれる栄養素の種類や働きを調べて発表したり、栄養バランスを考えた食事をするにはどうしたら良いかなどを話し合ったりする活動(ペア学習・グループ学習)を取り入れる。

体験活動の充実...調理実習など実践的・体験的な活動を取り入れ、実感をもって食の大切さを感じさせる。また、自然体験キャンプや全校クッキング等、他教科・行事等との関連を図る。

家庭や地域との連携...家庭の食事や給食、弁当を作ることについて、家族や調理場の栄養士の先生、ゲストティーチャーの方から話を聞く機会を設ける。また、「お助け隊」をお願いし、児童にアドバイスしていただき、個に応じた技能の習得とともに、次への活動の意欲へとつなげる。

5 題材の目標

日常の食事や調理に関心をもち、食事を大切にしたり、栄養を考えた食事のとり方をしようとしていたり、日常よく使用される食品を用いた調理をしようとしている。

【家庭生活への関心・意欲・態度】

楽しく食事をすることや栄養を考えた食事について、課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしようとしている。

日常よく使用される食品を用いた調理について考えたり、自分なりに工夫したりしている。

【生活を創意工夫する能力】

日常よく使用される食品を用いた調理に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。

【生活の技能】

食事の役割や大切さについて理解している。また、栄養を考えた食事のとり方について理解し基礎的・基本的な知識を身に付けている。

日常よく使用される食品を用いた調理に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

【家庭生活についての知識・理解】

6 食育との関連 食べ物を大切に、食事の準備をしてくれる家族に感謝する心をもつ。

【感謝の心】

7 題材の評価規準

ア 家庭生活への関心・意欲・態度	イ 生活を創意工夫する能力	ウ 生活の技能	エ 家庭生活についての知識・理解
<p>日常とっている食事に関心をもち、食事の役割を考えて食事を大切にしようとしている。</p> <p>食事に含まれる栄養素が体の成長や活動のもとになることに関心をもっている。</p> <p>食品をグループに分けることなどを通して、食品の</p>	<p>日常の食事を見直し、楽しく食事することについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p> <p>調理の目的や材料に合った洗い方、切り方、味の付け方、色どりや食べやすさを考えた盛り付け、衛生的で環境に配慮した後片付けについて考えたり、自分</p>	<p>調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや後片付けができる。</p>	<p>食事の役割や日常の食事の大切さについて理解している。</p> <p>五大栄養素の種類と働きについて理解し、栄養を考えて食事をとることの大切さについて理解している。</p> <p>食品に含まれる主な栄養素の体内でのたらしに</p>

<p>栄養的な特徴や食品の組み合わせに関心をもっている。</p> <p>1食分の食事のとり方に関心もち、栄養を考えた食事のとり方をしようとしている。</p> <p>調理において、適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛りつけや後片付けをしようとしている。</p>	<p>なりに工夫したりしている。</p> <p>3つのグループの食品のそろった組み合わせを考えたお弁当づくりの計画を立て、自分なりに工夫している。</p>		<p>より、食品を3つのグループに分ける分け方について理解している。</p> <p>3つのグループの食品を組み合わせることにより、栄養のバランスがよい食事になることを理解している。</p> <p>栄養バランスのよい1食分の献立の立て方について理解している。</p> <p>調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや後片付けの仕方について理解している。</p>
--	---	--	---

8 指導計画（全12時間 本時 7 / 12）

次	学 習 活 動	評 価					
		関	創	技	知	評価規準	評価方法
一 (2)	<p>① 食べることの大切さを考えよう 栄養素の働きを知ろう。 (1)</p> <p>・栄養素の種類と働きについて知る。</p> <p>調理の意味を知ろう。 (1)</p> <p>・食品の種類や調理の仕方を組み合わせて工夫することによって、多くの食品を組み合わせ、おいしく食べられることを知る。</p>					<p>ア 食事に含まれる栄養素が体の成長や活動のもとになることに興味をもっている。</p> <p>イ 五大栄養素の種類と働きについて理解し、栄養を考えて食事をとることの大切さについて理解している。</p> <p>ア 食品をグループに分けることなどを通して、食品の栄養的な特徴や食品の組み合わせに関心をもっている。</p> <p>イ 食品に含まれる主な栄養素の体内でのはたらきにより、食品を3つのグループに分ける分け方について理解している。</p> <p>エ 3つのグループの食品を組み合わせることにより、栄養のバランスがよい食事になることを理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p> <p>行動観察 発表 ワークシート</p>
二 (2)	<p>② 食事づくりのヒミツを探ろう 家庭で調べた食事の工夫や思いを調べよう。 (1)</p> <p>給食での1食分の献立の立て方のヒミツを調べよう。 (1)</p>				<p>ア 日常とっている食事に関心もち、食事の役割を考えて食事を大切にしようとしている。</p> <p>イ 日常の食事を見直し、楽しく食事をするということについて考えたり、自分なりに工夫したりする。</p> <p>エ 食事の役割や日常の食事の大切さについて理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p> <p>行動観察 発表 ワークシート</p>	

三 (4)	<p>3 感謝の気持ちを届けよう どんなお弁当にするか考えよう。(1)</p> <p>・家族にどんな思いでお弁当を作ってみたいかを考える。</p> <p>お弁当のメニューを考えよう。(1)</p> <p>・お弁当づくりの極意を達人に聞く。</p>				<p>ア 調理において、適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛りつけや後片付けをしようとしている。</p> <p>エ 食事の役割や日常の食事の大切さについて理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p> <p>行動観察 発表 ワークシート</p>
	<p>調理の計画を立てよう。 (1/2本時)</p> <p>・栄養バランスのとれたお弁当づくりについて考える。</p>				<p>エ 栄養バランスのよい1食分の献立の立て方について理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>
	<p>・栄養バランスを考えたお弁当づくりの計画を立てる。</p>				<p>ア 1食分の食事のとり方に関心を持ち、栄養を考えた食事のとり方をしようとしている。</p> <p>イ 3つのグループの食品のそろった組み合わせを考えたお弁当づくりの計画を立て、自分なりに工夫している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>
四 (2)	<p>4 ふれあい弁当を作ろう 栄養バランスを考えたお弁当づくりをしよう。(2)</p>				<p>ウ 調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや後片付けができる。</p> <p>エ 調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや後片付けの仕方について理解している。</p>	<p>行動観察 (お弁当) ワークシート</p>
五 (1)	<p>5 振り返りをしよう 調理実習の反省をしよう。(1)</p>				<p>イ 調理の目的や材料に合った洗い方、切り方、味の付け方、色どりや食べやすさを考えた盛り付け、衛生的で環境に配慮した後片付けについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>
六 (1)	<p>6 まとめをしよう 家庭でのお弁当づくりを終え、お弁当づくりをまとめよう。(1)</p>				<p>エ 食事の役割や日常の食事の大切さについて理解している。</p> <p>エ 調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや後片付けの仕方について理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>

9 本時の学習

(1) 本時の目標 栄養バランスのとれた“ふれあい弁当”づくりについて考えよう。

(2) 本時の評価規準

栄養バランスのよい1食分の献立の立て方について理解している。【家庭生活についての知識・理解】

(3) 準備物 ・ワークシート ・キーワードのカード ・4種類のお弁当の写真
 ・分類表 ・付箋(赤・青)

(4) 本時の展開 (別紙)

(5) 板書計画

10/26 毎日の食事を見つめ、できる自分になろう！

めあて 栄養バランスのとれた“ふれあい弁当”
づくりについて考えよう。

< 比べてみようお弁当 >

< 弁当作りで大切なこと >

色 あ い	味	栄 養 の バ ラ ン ス	好 み	季 節 感
-------------	---	---------------------------------	--------	-------------

青				
赤				

まとめ 献立を考える時は、栄養バランスを考えることが大切である。

家庭科学習指導案

庄原市立永末小学校

指導者 高下 一志

- 1 日時 平成24年10月26日(金) 9:15~10:00 家庭科室
- 2 学年 第6学年 4名
- 3 題材名 「家族が喜ぶ食事を作ろう」
- 4 題材について

本題材と関わる内容については、小学校学習指導要領 家庭 内容「A 家庭生活と家族」の指導項目(3)家族や近隣の人々とのかかわり、「B 日常の食事と調理の基礎」(1)食事の役割(2)栄養を考えた食事(3)調理の基礎に示されている。

食することは、健康を保ち、体の成長や活動のもとになったりすることや、一緒に食事をする中で、人と楽しくかかわったり、和やかな気持ちになったりすることなど大きな役割を担っている。また、楽しく食事をするためには、食事のマナーはもちろん、食べ方や会話、相手を思いやる気持ち、心の触れ合い、食事に対する感謝の気持ちを表すことなどが大切である。さらに、栄養素とその働き、食品の栄養的特徴を知り、1食分の献立を考え、工夫することを通して、栄養を考えた食事に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常生活で活用できるようになることも大切なことである。

そこで6年生では、家族へ感謝の気持ちを届ける“ふれあい弁当”づくりに取り組む。この活動を通して、家族との心のつながりを深め、自分たちの生活をさらに楽しく豊かなものにするというねらいで設定した。弁当づくりは、今まで学習した調理方法を応用しながら、野菜や卵、加工食品を利用し、栄養のバランスや味、色合いや好み、季節感などを考えた献立を立てて調理するのに適した題材である。今までの日常の食事と調理の基礎の学習のまとめの場として、また、家庭生活における総合力を発揮する発展の場としてとらえ、児童の思いや願いを生かす活動を展開していきたい。

6年生児童は、4名(男子1名、女子3名)である。児童はこれまで、食品の栄養的な特徴や食品群(栄養素の種類と働き)についての学習をし、朝食の大切さについて調べ学習をしたり、栄養のバランスを考えて給食献立や自然体験キャンプの献立、全校クッキングの献立などを考え、実際に調理実習をしたりしてきた。また、遠足の弁当を自分で作ったり、家族の弁当を作ったりするなど、食事の手伝いをしている児童は多い。授業や調理実習の様子からも、児童の手際はとても良い。しかし、給食時には好き嫌いも見られ、日常生活における食事で栄養バランスを考える意識はまだ薄い。調理についてのアンケートの結果は次のようであった。

今までに食事を1回でも作ったことはありますか。	ある 4人	ない 0人
今までに食事を作ったのは何回くらいありますか。	10回~40回(平均21回)	
今までにお弁当を1回でも作ったことはありますか。	ある 3人	ない 1人
今までにお弁当を作ったのは何回くらいありますか。	5回~7回(平均4回)	
あなたは料理することが楽しいと思いますか。	楽しい 4人	そうでもない0人
家ではだれがよく料理をしていますか。	お母さん4人、おばあちゃん2人、お父さん2人	

6年生児童は家庭科や総合的な学習の時間などで栽培活動や調理などの経験をたくさんし、調理に関する技能は身に付いている。また、食事の大切さに気付き、さらに料理がうまくなりたいという気持ちももっている。この気持ちを大切にしながら、さらに家庭生活中で実践できるようにしていきたい。指導に当たって、家族に感謝の気持ちを伝えるということと、栄養のバランスや

味、色合いや好みなどを考えて弁当づくりを行う。その際、次の3点について工夫する。

言語活動の充実...調理の基礎に関する内容について調べて発表したり、栄養バランスを考えた食事をするにはどうしたら良いか話し合ったりする活動（ペア学習・グループ学習）を取り入れる。

体験活動の充実...調理実習など実践的・体験的な活動を取り入れ、実感をもって食の大切さを感じさせる。また、自然体験キャンプや全校クッキング等、他教科・行事等との関連を図る。

家庭や地域との連携...家庭の食事や給食、弁当を作ることについて、家族や調理場の栄養士の先生、ゲストティーチャーの方から話を聞く機会を設ける。また、「お助け隊」をお願いし、児童にアドバイスしていただき、個に応じた技能の習得とともに、次への活動の意欲へとつなげる。

5 題材の目標

家族との関わりに関心をもち、家族との触れ合いや団らんを計画することにより、自分の家庭生活をよりよくしようとしている。

日常の食事に関心をもち、食事を大切にしたり、栄養を考えた食事のとり方をしようとしている。

【家庭生活への関心・意欲・態度】

家族との関わりについて課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。

楽しく食事をすることや栄養を考えた食事について、課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしようとしている。

日常よく使用される食品を用いた調理について考えたり、自分なりに工夫したりしている。

【生活を創意工夫する能力】

日常よく使用される食品を用いた調理に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。

【生活の技能】

家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。

食事の役割や大切さ、栄養を考えた食事のとり方について理解している。

【家庭生活についての知識・理解】

6 食育との関連 食べ物を大切に、食事等の準備をしてくれる家族に感謝する心をもつ。

【感謝の心】

7 題材の評価規準

ア 家庭生活への関心・意欲・態度	イ 生活を創意工夫する能力	ウ 生活の技能	エ 家庭生活についての知識・理解
家族との触れ合いや団らんに関心をもち、家族に気持ちを伝えたり触れ合う場をもったりしようとしている。 日常の食事に関心を	家族との触れ合いや団らんを楽しむことについて考えたり、自分なりに工夫したりする。 日常の食事を見直し、楽しく食事をするこ	調理の計画に沿って、材料を準備し、ゆでたりいためたりすることができる。 調理に必要な用具や食器及びコンロの安全で衛生的な取扱い	家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。 食事の役割や日常の食事の大切さについて理解している。 栄養のバランスのよ

<p>もち, 食事の役割を考えて食事を大切にしようとしている。</p> <p>1食分の食事のとり方に関心を持ち, 栄養を考えた食事のとり方をしようとしている。</p>	<p>とについて考えたり, 自分なりに工夫したりする。</p> <p>3つのグループの食品のそろった組み合わせや, 味や色合い, 家族の好みや季節などを考えたお弁当作りの計画を立て, 自分なりに工夫している。</p> <p>楽しい食事にするために, 食品選びや盛り付けを考え, 食べる人に喜んでもらえるために, 自分なりに工夫している。</p>	<p>ができる。</p>	<p>い1食分の献立の立て方について理解している。</p> <p>食事は健康や体の成長に必要な栄養素をとるだけでなく, 家族や親しい人との心のつながりを深めることも, 大切な役割であることを理解している。</p>
---	--	--------------	--

8 指導計画 (全11時間 本時6 / 11)

次	学 習 活 動	評 価					
		関	創	技	知	評価規準	評価方法
第 一 次 (1)	<p>1 毎日の食事を見直そう 食生活を振り返り, 自分の食生活での課題を見つけよう。 (1)</p> <p>・栄養的に調和のとれた食事のとり方の大切さが分かる。</p>					エ 食事の役割や日常の食事の大切さについて理解している。	行動観察 発表 ワークシート
第 二 次 (2)	<p>2 食事づくりのヒミツを探ろう 家庭で調べた食事の工夫や思いを調べよう。 (1)</p> <p>給食での1食分の献立の立て方のヒミツを知る。 (1)</p>					<p>ア 日常の食事に関心を持ち, 食事の役割を考えて食事を大切にしようとしている。</p> <p>イ 日常の食事を見直し, 楽しく食事をするについて考えたり, 自分なりに工夫したりする。</p> <p>エ 食事の役割や日常の食事の大切さについて理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p> <p>行動観察 発表 ワークシート</p>

第三次 (3)	<p>3 感謝の気持ちを届けよう どんなお弁当にするか考えよう。 (1) ・家族にどんな思いでお弁当を作ってみたいかを考える。</p>				<p>ア 家族との触れ合いや団らんに関心を持ち、家族に気持ちを伝えたり触れ合う場をもったりしようとしている。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>
	<p>お弁当のメニューを考えよう。(1) ・お弁当づくりの極意を達人に聞く。</p>				<p>エ 栄養のバランスのよい1食分の献立の立て方について理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>
	<p>調理の計画を立てよう。 (2 / 2本時) ・感謝の気持ちを届けるお弁当づくりの計画を立てる。</p>				<p>イ 3つのグループの食品のそろった組み合わせや、味や色合い、家族の好みや季節などを考えたお弁当作りの計画を立て、自分なりに工夫している。 イ 家族との触れ合いや団らんを楽しくすることについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>
第四次 (2)	<p>4 ふれあい弁当を作ろう 家族へ感謝の気持ちを届けるお弁当づくりをしよう。 (2)</p>				<p>ア 1食分の食事のとり方に関心を持ち、栄養を考えた食事のとり方をしようとしている。 イ 楽しい食事にするために、食品選びや盛り付けを考え、食べる人に喜んでもらえるために、自分なりに工夫している。 ウ 調理の計画に沿って、材料を準備し、ゆでたりいためたりすることができる。 エ 調理に必要な用具や食器及びコンロの安全で衛生的な取扱いができる。</p>	<p>行動観察 (お弁当) ワークシート</p>

第五次 (1)	<p>5 振り返りをしよう 調理実習の反省をしよう。(1)</p>				<p>エ 食事は健康や体の成長に必要な栄養素をとるだけでなく、家族や親しい人との心のつながりを深めることも、大切な役割であることを理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>
第六次 (1)	<p>6 まとめをしよう 家庭でのお弁当づくりを終え、弁当づくりのまとめをしよう。(1)</p>				<p>イ 3つのグループの食品のそろった組み合わせや、味や色合い、家族の好みや季節などを考えたお弁当作りの計画を立て、自分なりに工夫している。</p> <p>エ 家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>

9 本時の学習

(1) 本時の目標 感謝の気持ちを届ける“ふれあい弁当”づくりの計画を立てよう。

(2) 本時の評価規準

家族との触れ合いや団らんを楽しくすることについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。
3つのグループの食品のそろった組み合わせや、味や色合い、家族の好みや季節などを考えたお弁当づくりの計画を立て、自分なりに工夫している。 【生活を創意工夫する能力】

(3) 準備物 ・ワークシート ・ふれあい弁当レシピ(児童用)
・感謝を届けるために作る材料

(4) 本時の展開 (別紙)

(5) 板書計画

10/26 今日の食事はまかせて、たのもしい自分になろう!						
めあて	感謝の気持ちを届ける“ふれあい弁当”づくりの計画を立てよう。	<どんな気持ちを伝える? >	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ち ・いつも ありがとう! ・元気になってね! 			
	<ふれあい弁当 レシピ>		<どうやって伝える? >			
	<table border="1" style="width: 100%; height: 60px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を書く ・小物を作る ・絵を描く
まとめ	感謝の気持ちを届ける工夫をすることで、家族との心のつながりが深まる。					

(4) 本時の展開

< 5年生 >

評価規準 (評価方法)	指導上の留意点 ☑支援を必要とする児童への手立て	学習過程	思考 過程
	・学習リーダーが進める。	1 本時のめあてを確認する。 今日のめあてを読みましよう。	つかむ (1分)
	☑ 栄養バランスのとれた“ふれあい弁当”づくりについて考えよう。		
	・キーワードのカードを貼る。	2 弁当づくりで大切なことを考える。 弁当を作るときに大切なことは何ですか。	考える (4分)
	はっきり表現させる。	栄養バランス ・おいしさ(味) ・色合い(見た目) ・季節感	
栄養バランスのよい1食分の献立の立て方について理解している。 【家庭生活についての知識・理解】 (行動観察・発表・ワーク)	・事前に書いていたカードを使って発表する。	3 どんな弁当にするか発表する。 自分の弁当について発表しよう。	深める (30分)
	はっきり表現させる。	お弁当のキャッチフレーズだれに食べてもらうのか? どんな中味にするのか? どこを工夫するのか?	
	☑ 考えが出にくい児童に材料名と6つの食品群を提示する。	4 どんな弁当が栄養バランスを考えた弁当か考える。 弁当の栄養バランスを見て、自分の考えを紙に書こう。	
	・4種類の弁当の写真を用意する。 ・付箋青にいいところ、付箋赤によくないところを書かせて貼っていく。	青 弁当の良いところ 赤 弁当の良くないところ	
	じっくり考えさせる。	5 栄養バランスのとれた弁当について発表する。 発表しよう。	
	ことばの力活用 POINT 根拠を明確にして発表する。	・赤, 黄, 緑の食品が入っている。 ・どの食品もバランスよく入っている。 ・色合いや量もいい。	
	・キーワードのカードを貼る。	6 栄養バランスについて確認する。 ・3つのグループの食品が含まれている。 ・上手く組み合わせである。	振り返る (10分)
	しっかり教える。		
	☑ 献立を考える時は、栄養バランスを考えることが大切である。		
	・めあてにそった振り返りをする。	7 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。	

< 6年生 >

思考 過程	学習過程	指導上の留意点 ☑支援を必要とする児童への手立て	評価規準 (評価方法)
つかむ (1分)	1 本時のめあてを確認する。 今日のめあてを読みましよう。	・学習リーダーが進める。	
	☑ 感謝の気持ちを届ける“ふれあい弁当”づくりの計画を立てよう。		
考える (9分)	2 レシピをもとに、お互いの弁当について交流し評価する。 お互いの弁当について交流しよう。	・事前に書いていたカードを使って発表する。 ・弁当の写真を活用する。	3つのグループの食品のそろった組み合わせや、味や色合い、家族の好みや季節などを考えたお弁当作りの計画を立て、自分なりに工夫している。 【生活を創意工夫する能力】 (行動観察・発表・ワーク)
	いいところ 考えた方がいいところ 聞いてみたいこと	はっきり表現させる。	
		ことばの力活用 POINT ナンバリングなどを使い、お互いの感想を伝え合う。	
深める (30分)	3 どんな気持ちを伝えるか発表する。 この弁当でだれにどんな気持ちを伝えますか。	・お母さんに感謝の気持ちを伝えたい。 ・お父さんにありがとうを伝えたい。 ・おばあちゃんに元気になってと言いたい。	家族との触れ合いや団らんを楽しむことについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。 【生活を創意工夫する能力】 (行動観察・発表・ワーク)
	はっきり表現させる。		
	4 どうやって気持ちを伝えるか発表する。 どんな方法がいいか発表しましょう。	☑ アイデアの出にくい児童に小物作りの本、折り紙の本などを用意しておく。	
	・手紙を書く。 ・小物を作る。(箸置き、マスコット) ・絵を描く。		
	5 気持ちを伝える作品を作る。	・事前に必要な材料を聞いて用意しておく。	
振り返る (5分)	6 弁当づくりを通して感謝の気持ちを伝えることを再確認する。	・児童の作品を紹介する。	
	☑ 感謝の気持ちを届ける工夫をすることで、家族との心のつながりが深まる。		
	7 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。	・めあてにそった振り返りをする。	